



# 桶川東中だより

☆★令和3年度★★☆

桶川東中学校通信 No.4 発行：7月7日（水）

## 「これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」<sup>し</sup>

校長 矢澤 等

6月には学校総合体育大会の班牙選が行われ、先週には期末テストも実施されました。7月に入り、1学期のまとめの時期となりました。それぞれの場面で、自分が頑張ったことや成長できたことをしっかりと振り返りましょう。昨年と違って、今年の夏休みは例年どおりの日程に戻ります。充実した過ごし方を心がけてもらいたいと思います。

さて、表題の言葉は、以前紹介した「論語」の中にある、『これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず』の一節です。意味は、「物事を知識として知っている者は、これを愛好する者には及ばない。さらに、これを愛好する者は、これを楽しんでいる者には及ばない。」というものです。

学びには「知る」「好む」「楽しむ」という三つの段階があり、受け身から積極的な姿勢に変わっていく流れがあるということなのでしょう。これも先日紹介した、渋沢栄一さんも『論語と算盤』の中で、この言葉を挙げながら、「たとえどんなことでも、自分のやるべきことに趣味（好んだり楽しんだりすること）を持って努力すれば、心から湧き出る理想や思いは叶うものだ」と言っています。

勉強や部活動など、中学生においては、まだ「知る」という段階や、やっと「好き」になり始めたという段階の人も多いことでしょう。しかし、大人になってもそれら続けている人は、「楽しむ」という境地にまでたどり着けているのだと思います。また、そうした境地を知ることで、他のことにも良い影響があるようです。夏休みには、学びや体験の場面で、ぜひ「楽しむ」という気持ちを意識して臨んでもらいたいと思います。



### 7月の生活目標

・自分の取り組みを振り返り、1学期のまとめをしよう。

### 重点目標

・規則を守る。 ・清掃活動の充実

